

## 資料5

# 第2次安城市多文化共生プラン (令和元年度～令和6年度)

## 実績報告



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

## 第2次プランですることの全体図

### だれもが安心して暮らせる 多文化のまち安城

#### 6年後にめざすこと

- ①日本人も外国人も関係なく、自分からあいさつをしたり、話しかけたりして、お互いを理解しています。
- ②外国人市民の暮らしの心配が減っています。子どもも夢をもって暮らしています。
- ③多文化共生をみんながわかります。
- ④外国人市民も地域で役割があり、活躍しています。

#### 〈目標の数字〉

| 目 標                      | 2017年度 | 2024年度 |
|--------------------------|--------|--------|
| 多文化共生がわかる日本人市民           | 33.6%  | 50%    |
| 地域のまつりや仕事に参加したことのある外国人市民 | 55.2%  | 60%    |
| 安城市を住みやすい場所だと思う外国人市民     | 87.5%  | 90%    |
| 高校などの学校に入る外国人の中学生        | 82.5%  | 91%    |
| 多文化共生に関係する活動をしている市民団体の数  | 5団体    | 8団体    |

#### 基本の考え

- [1] 多文化共生の考えを知っている人を増やす

- [2] 外国人市民が勉強できる場所などを増やす

- [3] 日本人市民と外国人市民が話したりできるようにする

- [4] たくさんの外国人市民にわかりやすく情報を伝える

- [5] 外国人市民の暮らしの不安を少なくする

- [6] 外国人市民が地域で活躍できるようにする

- [7] 多文化共生を手伝う人を探す、育てる

#### 主にすること

- (1) 多文化共生の意味をわかるようにする  
(2) 外国の文化を知ったり、外国と交流する

- (1) 日本語を勉強できる場所を増やす  
(2) いろいろな場所や時間に勉強できるようにする

- (1) 日本人も外国人もお互いに話しかけやすくする  
(2) 日本人と外国人が気軽に交流できる場をつくる

- (1) 市役所からのお知らせを外国人市民にも伝わりやすく  
(2) 外国人市民にわかりやすく情報を伝える仕組みをつくる  
(3) 外国人市民へのいろいろな情報を増やす  
(4) 建物やまちの案内などをわかりやすくする

- (1) 子どもを産んだり育てる時の不安を少なくする  
(2) 子どもが育つことや、将来活躍することを応援する  
(3) 地震や台風などが起きた時の不安を少なくする  
(4) 生活の中で起きる困ったことに応える

- (1) 外国人市民が地域の仕事などに参加することを手伝う  
(2) 外国人市民に地域の仕事を手伝ってもらう  
(3) 外国人市民の考えを聞く場所をつくる

- (1) 多文化共生に興味がある人を探す、育てる  
(2) 多文化共生の活動がたくさんある

#### 主にすることの例

##### 子ども日本語教室を手伝う

外国人市民の子どもが、学校の他にも日本語を勉強したり、自分で勉強する場所を増やすことを手伝います。



##### 話したり伝えるための道具を上手に使う

市役所の職員が外国人市民と話すときに、「指さし会話ボード」、「音声翻訳ソフト」、「通訳サービス」などの道具を上手に使います。



##### 子どもを育てている人が集まる場所をつくる

子どもを育てる外国人市民などが、気軽に集まったり、いることができる場所をつくらします。



##### 外国人市民が相談できる場所を増やしたり、相談しやすいようにする

外国人市民が相談しやすくなるように、市役所の市民相談は、相談できる場所を増やしたり、わかりやすく相談できるようにします。外国人の悩みに詳しい人との協力も考えます。



## 基本方針1.多文化共生に対する理解や意識の定着

### ✓実施した主な取組

- ・多文化共生の理解促進のため、パネル展示、講座・研修などを開催
- ・市公式ウェブサイトやSNSを活用し、外国人統計の共有や周知を実施

### □パネル展示、講座・研修 実績

| 回数    | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| パネル   | 3回     | 1回     | 1回     | 2回     | 3回     | 1回     |
| 講座・研修 | 5回     | 4回     | 6回     | 5回     | 4回     | 6回     |

## 基本方針2.外国人市民の学習機会の充実

### ✓実施した主な取組

- ・日本語教室への支援を行い、日本語学習ボランティアのスキルアップ講座を開催
- ・市内の高校に通う高校生と協力し、小中学校の長期休暇に子どもへの学習支援



## 基本方針3.日本人市民と外国人市民のコミュニケーションの充実

### ✓実施した主な取組

- ・外国人親子と日本人親子の気軽な交流の場として多文化子育てサロンを開催
- ・町内会、自治会への翻訳ツールの貸し出し
- ・外国人市民も理解しやすく、気軽に他の受講者と交流できるような講座を実施

### □多文化子育てサロン 実績

| 回数とテーマ | 1回目     | 2回目    | 3回目    | 4回目   |
|--------|---------|--------|--------|-------|
| 2020年度 | 子どもの 栄養 | 学校     | -      | -     |
| 2021年度 | 防災      | 学校     | 子育て    | -     |
| 2022年度 | 防災      | 児童センター | 図書館    | 食べること |
| 2023年度 | 救急・SOS  | フリーテーマ | フリーテーマ | 学校    |
| 2024年度 | 防災      | 言語取得   | 遊び     | 子育て   |





安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved

## 基本方針4.多くの外国人市民に伝わる情報伝達

### □SNS (facebook、Instagram) での情報発信 実績

| 回数と<br>フォロワー | 2019年<br>度 | 2020年<br>度 | 2021年<br>度 | 2022年<br>度 | 2023年<br>度 | 2024年<br>度 |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| Facebook     | 38回        | 102回       | 133回       | 64回        | 68回        | 65回        |
| ↳フォロワー       | 282人       | 466人       | 635人       | 694人       | 764人       | 833人       |
| Instagram    | -          | -          | -          | 54回        | 68回        | 65回        |
| ↳フォロワー       | -          | -          | -          | 214人       | 306人       | 527人       |

★Facebook



★Instagram



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

## 基本方針5.外国人市民の暮らしの不安軽減

### ✓実施した主な取組

- ・市民課に、外国語通訳職員を配置
- ・電話、テレビ通訳システムを導入し、多言語での生活相談に対応
- ・子ども、子育てへの支援として、日本語適応指導教室、日本語初期指導教室
- ・市民活動団体による子どもの放課後日本語教室、プレスクールの運営の支援
- ・多言語化された防災ガイドブック、地震ハザードマップの配布

#### □電話通訳システム



#### □防災ガイドブック



#### □地震ハザードマップ





## 第2次プラン 実施した主な取組について 8/10

### 基本方針6.外国人市民が地域で活躍できる環境づくり

#### ✓実施した主な取組

- ・外国人市民も参加している懇話会で定期的な意見交換
- ・ロールモデルとなる外国人市民を広報誌で紹介
- ・多言語での町内会、自治会の説明資料を配布

### 基本方針7.多文化共生に貢献する人材の発掘、育成

#### ✓実施した主な取組

- ・市民活動団体と協働した事業の実施、情報交換
- ・多文化共生サロン設置に向けた試行的な取組を実施

#### □試行的な取組(市内各所で実施していた日本語教室をさくら庁舎に集約)



#### <市民団体の声>

- ・開催場所の安定的な確保に対する感謝の声
- ・外国人市民にとっても利便性が向上



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**



## 第2次プラン 成果指標の達成状況と今後の課題

✓5つの成果指標を設定し、プランの達成状況进行评估

9/10

| 成果指標                  | 平成29年度 | 令和5年度 | 目標値 | 評価 |
|-----------------------|--------|-------|-----|----|
| 多文化共生の理解度             | 33.6%  | 45.1% | 50% | B  |
| 地域の行事等に参加したことがある外国人市民 | 55.2%  | 51.7% | 60% | C  |
| 安城市を住みやすいと思う外国人市民     | 87.5%  | 87.4% | 90% | C  |
| 外国人生徒の高校等への進学率        | 82.5%  | 88.9% | 91% | B  |
| 多文化共生に関わる活動を行う市民団体    | 5団体    | 9団体   | 8団体 | A  |

評価基準／A:目標達成 B:目標未達成だが基準値より増加 C:基準値より減少



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

## 第2次プラン 成果指標の達成状況と今後の課題

✓ 成果指標に対する評価を踏まえた課題は以下のとおり

10/10

| 成果指標                          | 評価 | 課題解決に必要なこと                                                  |
|-------------------------------|----|-------------------------------------------------------------|
| 多文化共生の理解度                     | B  | 多文化共生の意識啓発・交流機会の創出                                          |
| 地域の行事等に<br>参加したことのある<br>外国人市民 | C  | 外国人市民への効果的な情報発信<br>外国人市民がイベントなどに参加しやすい仕組みづくり                |
| 安城市を住みやすい<br>と思う外国人市民         | C  | 困りごとを相談しやすい環境づくり<br>子どもを育てやすい環境の整備                          |
| 外国人生徒の高校<br>等への進学率            | B  | 放課後学習支援の充実<br>日本の教育制度に対する保護者の理解促進<br>子どもへのキャリア教育などの取組が必要です。 |
| 多文化共生に関わ<br>る活動を行う市民団<br>体    | A  | 市民団体(多文化共生推進団体)への支援<br>行政と団体の協働などに積極的に取り組み                  |

⇒3次プランでは課題解決に繋がる取組を実施していく。



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**